

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	国語	科目	現代の国語		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書		「現代の国語」（数研出版）		補助教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 準拠ワーク（数研出版） 常用漢字ワーククリア（尚文出版）			
科目の目標		(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考查まで	○「論理的ということ」 ・論理性とはどういうことか、なぜ論理が必要とされるのかについて、筆者の主張を理解する。 ・筆者の主張を理解し、論理的ではないコミュニケーションの具体的例を挙げ、論理的に言い換える。 評論の読み方 ＜対比の構造＞ ○「水の東西」 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・対比の構造に着目し読み進めることで、評論の読み方を知る。 【ズームアップ】文化 ＜実用の文章＞ ○コミュニケーションの手段を考える ・非言語コミュニケーションの要素や特徴を理解し、具体的事例を挙げる。 ・コミュニケーションのあり方についてクラスで考え、話し合う。				知識 技能	定期考查等		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	定期考查等		
						課題やレポート		
第 1 学期 期末 考查まで	＜対比の構造＞ ○「攻撃」と「共存」 ・対比の構造に注意をして、筆者の主張を理解する。 ・筆者の考える現代社会の問題を理解した上で、「現代という時代」について、自分自身の問題として考察し、論拠とともに考えを述べる。 ＜一般論と主張＞ ○「ポスト・プライバシー」 ・筆者が論じる「アイデンティティ」のあり方の変容を理解する。 ・筆者の論を踏まえた上で、今日の社会が向かっている方向性について考える。 【ズームアップ】情報とメディア ＜実用の文章＞ ○目的に合わせて表現を工夫する ・条例の本文とそれに基づくパンフレットのそれぞれの文体や表現上の特徴を理解する。 ・条例の前文をわかりやすく周知するためのパンフレットを作成し、相互批評する。				知識 ・ 技能	定期考查等		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	定期考查等		
						課題やレポート		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		◎	○	○				
	評価 規 準	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。				

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	<論理とレトリック> ○「コインは円形か」 ・筆者が述べるレトリックの意味を理解する。 ・「レトリック感覚」が必要とされる理由を考え、説明する。 <具体と抽象> ○「ものごとことば」 ・筆者が論じる「もの」と「ことば」の関係を的確に理解する。 ・筆者の主張を踏まえ、「ことば」についての自分の考えを深める。 【ズームアップ】どこにも蝶などいない <実用の文章> ○資料を分析して考えをまとめる ・資料の読み取りや分析の仕方を理解する。 ・分析内容から得られた自分の考えを他者が理解できるよう適切にまとめる。			知識 技能	定期 考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期 考査等
					課題やレポート
主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
第2学期 期末 考查まで	<具体と抽象> ○「人と自然の共生とはどういうことか」 ・筆者の主張する「文化的共生」について理解する。 ・「人と自然の共生」とはどういうことかを考え、自分たちはどうあるべきかを考える。 【ズームアップ】環境問題のこれから <比較する> ○「政治的思考」 ・「政治的思考」において大切なことを的確に理解する。 ・「民主政治」の特徴を「独裁政治」と比較しながら的確に理解し、自分の考えを深める。 <実用の文章> ○根拠の妥当性を説明する ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。			知識・ 技能	定期 考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期 考査等
					課題やレポート
主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動				
	振り返りシート等				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	・目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。	・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	
		・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	・目的や意図に応じて、実社会から適切に題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	・筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
学年 末 考查まで	<視野を広げる> ○「他者を理解するということ」 ・筆者の考える「理解すること」の内容について正しく読み取る。 ・他者の理解において大切なことは何かを理解する。 【ズームアップ】自己と他者の理解とは <思考を深める> ○「時間と自由の関係について」 ・時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、要約する。 ・筆者の論を踏まえ、現代社会の問題点について考える。 【ズームアップ】近代と時間の関係 <実用の文章> ○文章の構成を工夫して提案する ・提示されている条件や情報を読み取り、話し合う。 ・読み取った内容をもとに企画書を書き、相互評価をもとに遂行する。 ○課題を発見し解決策を発表する ・課題文全体の内容を把握し、的確に要約する。 ・課題に関する自分のテーマを設定し、問題点や解決方法を考え、発表する。			知識 技能	定期 考査等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期 考査等
					課題やレポート
主体的に 学習に 取り組む 態度	定期 考査等				
	課題やレポート				
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	
		・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	・目的や場に応じて、実社会から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	・課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	国語	科目	言語文化		単位	3	必修 選択	必修
使用教科書	「高等学校言語文化」 (数研出版)		補助教材等		「高等学校言語文化 準拠ワーク」 (数研出版) 「基礎から学ぶ解析古典文法」 (桐原書店) 「漢文必携」 (桐原書店)			
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、その担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価 規 準	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現について理解している。		・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えながら、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作人の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。		・進んで古典特有の決まりや表現について理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 期末 考査 まで	〈古文〉 ・「児のそら寝」（宇治拾遺物語） 古文を学ぶ者としての常識を押さえつつ、読解の基礎を学ぶ。 ・品詞の分類と活用 古文文法における品詞の種類と特徴を大まかにつかむ。 ・「検非違使忠明」（宇治拾遺物語） 動作主の推察を行い、助動詞「けり」や「已然形＋ば」の接続の仕方や訳し方などを理解する。 ・用言の活用 動詞、形容詞、形容動詞の活用の種類を知り、その特徴を理解する。				知識・ 技能	定期考査等		
						課題やノート 小テスト等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	〈漢文〉 ・訓読の基礎 訓点を施された漢文を書き下し、漢文訓読の基礎力を養う。 ・再読文字、助字、置き字 再読文字や助字、置き字の特性を理解し、適切に訓読できる知識と技能を身に付ける。 ・「漁夫之利」（戦国策） 否定の句法を押さえながら、本文の展開の面白さを味わう。 〈古文〉 ・「ある人、弓射ることを習ふに」（徒然草） 助動詞「む」「べし」に留意し、自戒を含む展開を味わう。 ・助動詞の文法的意味と活用 ・「芥川」（伊勢物語） 在原業平との関連を押さえつつ、歌を中心とした展開に着目する。				知識・ 技能	定期考査等		
						課題やノート 小テスト等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
		評価 規 準	・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語の決まりを理解できているか。 ・訓読の決まりを理解し、文章の内容を的確に読み取っているか。		・随筆や物語などの文章の種類を踏まえて、叙述内容を的確に捉えているか。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めているか。		・和歌や随筆、格言や故事成語に触れ、古文や漢文の世界に進んで親しもうとしているか。	

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考査まで		知識・技能		定期考査等	
				課題やノート	
				小テスト等	
		思考判断表現		定期考査等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
主体的に学習に取り組む態度		課題やノート			
		授業での活動			
		振り返りシート等			
第 2 学期 期末 考査まで		知識・技能		定期考査等	
				課題やノート	
				小テスト等	
		思考判断表現		定期考査等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
主体的に学習に取り組む態度		課題やノート			
		授業での活動			
		振り返りシート等			
第 2 学期	観点別評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		評価規準	・漢文の基本的な句法を理解し、その知識を活用して書き下しや現代語訳ができているか。 ・漢詩の詩形や押韻、対句などについて理解できているか。 ・文語助動詞などの文法事項を手がかりに適切に読み取ることができているか。	・漢詩の対句や押韻といった表現上の特徴を踏まえて作品を味わい、情景を解釈できたか。	・歴史物語の時代背景や、和漢混交文の音の響きを踏まえて作品を味わおうとしたか。
学年末 考査まで		知識・技能		定期考査等	
				課題やノート	
				小テスト等	
		思考判断表現		定期考査等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
主体的に学習に取り組む態度		課題やノート			
		授業での活動			
		振り返りシート等			
第 3 学期	観点別評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		評価規準	・日本を代表する俳人の紀行文を知り、その道程や作品について理解することができたか。 ・古代中国の思想の種類とその概要について理解を深めることができたか。	・構成に注目しながら作品に込められた思いを読み取り、作者が旅をどのようなものと捉えているか、解釈できたか。 ・古代中国の思想を踏まえ、時代を超えた普遍性をもつ価値について考え、自分のものの見方考え方を豊かにできているか。	・日本各地の歌枕について興味をもち、芭蕉が訪ね歩いた風景を思い描こうとしたか。 ・古代中国の思想を自分や現代日本の道徳観などに結び付けて解釈しようとしたか。

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	地理歴史	科目	地理総合		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書		「高等学校新地理総合」 (帝国書院) 「新詳高等地図」 (帝国書院)		補助教材等	「CONNECT 地理総合」 (第一学習社) 「高等学校新地理総合ノート」 (帝国書院)			
科目の目標		社会的事象の地理的な見方・考え方・を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	・地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地球的課題への取組などを理解している。 ・地図や諸資料から様々な情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象に関して、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察している。 ・地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを効果的に表現している。	・地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本国民としての自覚を涵養し、世界の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深めようとしている。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)				観点別評価			
				観 点	評価の手段			
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第 1 部 地図でとらえる現代世界 第 1 章 地図と地理情報システム ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・身の回りの地図や現代世界の地理情報について、その情報を読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける 第 2 章 結び付きを深める現代世界 ・現代世界の地域構成について、日本の位置や領域などの学習を踏まえ、貿易や通信などの国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。				知識 技能	定期考査等		
						課題やレポート 授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第 2 部 国際理解と国際協力 第 1 章 生活文化の多様性と国際理解 1 世界の地形と人々の生活 2 世界の気候と人々の生活 ・世界の人々の生活文化についてその生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し表現する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。				知識 ・ 技能	定期考査等		
						課題やレポート 授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
	評価 規 準	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを理解している。		・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因など多面的・多角的に考察し、表現している。		・日本の位置や領域をめぐる問題について、主体的に追究し関心を深めている。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	3 世界の言語・宗教と人々の生活 4 歴史的背景と人々の生活 5 世界の産業と人々の生活 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 ・言語・宗教・歴史などの生活文化の学習を基に、社会や集団の形成について理解するとともに、国際社会での日本の位置や世界の生活文化の多様性を考察し、表現する。	知識 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考查まで	第2章 地球的課題と国際協力 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題 人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の現状を理解するとともに、各国の取組や国際協力の必要性について理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題 人口問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、その要因や解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	知識 ・ 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・産業の発展や変化、地域差について理解している。 ・世界各地でみられる環境問題や人口問題などを基に、地球的課題の傾向性について大観し理解している。	・産業の発展とその課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、現状や要因、解決の方向性について多面的に考察している。	・地球的課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
学年 末 考查まで	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 ・地形や気候など日本の自然環境について理解するとともに自然災害の要因や規模、地域性などを踏まえた備えや対応の重要性を理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 第2章 生活圏の調査と地域の展望 ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。	知識 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・ハザードマップや地形図を読み取り、情報を収集し、まとめる技能を身に付けている。	・地域性を踏まえた防災について、自然条件や社会条件との関わりなどに着目して、自然災害への備えや対応などを多面的に考察し、表現している。	・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	地理歴史	科目	歴史総合		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）		補助教材等	詳述歴史総合マイノート （実教出版） 問いから始める歴史総合 （東京法令出版）				
科目の目標	○世界とそこにおける日本を、広く相互的な視野でとらえることができる。 ○資料を活用しながら、歴史の学び方や基礎的な概念を習得することができる。 ○現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を考察し、表現することができる。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価 規 準	世界とそこにおける日本を、相互的な視点から幅広く理解し、また諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。		近代以降の日本と世界について、時期や推移を比較し、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、解決を視野に入れて構想したりする力や、それを効果的に説明したり議論したりする力を身に付けている。		近代以降の日本と世界について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して世界の中で生きる日本人としての自覚を持つとともに、他国の文化を尊重することの大切さを認め、課題を主体的に探究しようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第 1 章 近代化への胎動 ・ 18 世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 第 2 章 欧米の市民革命と国民国家の形成 ・ 産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。				知識 技能	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
主体的に 学習に 取り組む 態度	振り返りシート等							
	課題やレポート							
	授業での活動							
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第 3 章 アジアの変容と日本の近代化 ・ 日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ・ 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。				知識・ 技能	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
主体的に 学習に 取り組む 態度	振り返りシート等							
	課題やレポート							
	授業での活動							
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
	評価 規 準	・ 近代の日本と世界について、歴史的環境と文化の形成などその特色を理解している。 ・ 適切な史料を基に情報を読み取る技能を身に付けている。		・ 産業革命や国民国家の形成といった国際関係の変化、社会の変化などに着目して、近代社会の特質について多面的・多角的に考察している。		・ 近代の日本と世界について、主体的にかつ他者と協働しながら、多面的・多角的に考察しようとしている。		

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 期末 考査まで	第4章 帝国主義の時代 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察、表現させる。	知識 技能		定期考査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考査まで	第6章 経済危機と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 ・ 技能		定期考査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・帝国主義と二度の世界大戦、それによる国際関係の変化などについて、その特色を理解している。 ・適切な史料を基に情報を読み取る技能を身に付けている。	・二度の世界大戦に至る国際関係の推移や変化に着目して、世界とその中の日本の変容について多面的・多角的に考察している。	・帝国主義と二度の世界大戦、それによる国際関係の変化などについて、主体的にかつ他者と協働しながら、多面的・多角的に考察しようとしている。	
学年 末 考査まで	第7章 冷戦と脱植民地化 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察、表現させる。 第8章 多極化する世界 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	知識 技能		定期考査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・現代にいたる日本と世界の諸地域について、その特色を理解している。 ・適切な史料を基に情報を読み取る技能を身に付けている。	・冷戦期の世界の諸相や各国の動向に着目して、現代社会の成立と展開について多面的・多角的に考察している。	・現代の私たちを取り巻く諸課題について、歴史的な視点から主体的に、かつ他者と協働しながら多面的・多角的に考察しようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	数学	科目	数学 I	単位	3	必修 選択	必修	
使用教科書	「新編 数学 I」(数研出版)		補助教材等	3TRIAL 数学 I (数研出版) FocusGoldSmart数学 I + A (啓林館)				
科目の目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培うことで、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育てる。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価 規 準	・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。		・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。		
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第1章 数と式 第1節 式と計算 ・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して整式の展開や因数分解を能率よく計算できるようになる。 第2節 実数 ・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 第3節 1次不等式 ・不等式とその解の意味を理解し、1次不等式の解法に習熟させ、大小に関する身近な問題の解決に活用できるようになる。	知識 技能			定期 考 査 等	課題やレポート		
		思考 判 断 表 現			定期 考 査 等	課題やレポート		
主体的に 学 習 に 取 り 組 む 態 度				課題やレポート	授業での活動			
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第2章 集合と命題 ・図や表などを用いて、集合の包含関係など集合に関する基本的な事項を具体的な事象に基づいて理解する。 ・集合の包含関係と関連付けて、必要条件、十分条件、対偶、背理法などを学習し、論理的な思考力を磨く。 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ・関数とそのグラフについて理解を深め、2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描けるようになる。	知識・ 技能			定期 考 査 等	課題やレポート		
		思考 判 断 表 現			定期 考 査 等	課題やレポート		
主体的に 学 習 に 取 り 組 む 態 度				課題やレポート	授業での活動			
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
		評価 規 準		・展開の公式や因数分解の公式を利用できる。 ・根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 ・不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ・空集合、共通部分、和集合、補集合について理解している。 ・平方完成を利用して、2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。		・式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式や因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 ・身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 ・命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 ・2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる		・式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。 ・直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとしている。 ・放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとしている。

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	第2節 2次関数の値の変化 ・2次関数の最大・最小について理解を深め、最大値や最小値を求める具体的な問題の解決に活用できるようになる。 ・与えられた放物線のグラフや条件から、その2次関数を定められるようになる。 第3節 2次方程式と2次関数 ・2次関数のグラフやx軸との位置関係を利用して、2次方程式や2次不等式の解について理解を深め、2次不等式の解法を習熟する。 第4章 図形と計量 第1節 三角比 ・三角比（正弦・余弦・正接）の概念を導入し、鈍角までの三角比の相互関係について理解を深め、直角三角形に着目し、辺の長さに関する問題の解決に活用できるようになる。	知識 技能		定期考査等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考査等	課題やレポート
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
第2学期 期末 考查まで	第2節 三角形への応用 ・正弦定理、余弦定理や三角形の面積の公式について学習し、平面や空間における図形の辺の長さや角の大きさおよび面積などを求められるようになる。 第5章 データの分析 ・統計の用語の意味やその扱いについて理解するとともに、目的に応じてデータを収集・整理し、四分位偏差、分散、標準偏差などに着目し、データの傾向を的確に把握することができるようになる。 ・散布図及び相関係数の意味を理解し、それらを利用してデータの相関を的確にとらえ説明できるようになる。 課題学習	知識 ・ 技能		定期考査等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考査等	課題やレポート
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・2次関数を平方完成して、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次不等式を解くことができる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・正弦定理・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。 ・平均値や最頻値、中央値、範囲、四分位範囲の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。	・定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から考察することができる。 ・既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 ・データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。	・日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。 ・2次不等式を解くときに、図を積極的に利用している。 ・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。 ・変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	数学	科目	数学Ⅱ		単位	1	必修 選択	必修
使用教科書		「新編 数学Ⅱ」（数研出版）		補助教材等	3TRIAL 数学Ⅱ（数研出版） FocusGoldSmart数学Ⅱ（啓林館）			
科目の目標		いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。						
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		重点	◎		○		○	
		評価規準	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
学年末 考查まで	第1章 式と証明 第1節 式と計算 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 第2節 等式・不等式の証明 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	知識 技能			定期 考查等	課題やレポート		
		思考 判断 表現			定期 考查等	課題やレポート		
		主体的に 学習に 取り組む 態度			課題やレポート 授業での活動			
第3学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	評価 規 準	◎		○		○		
		・3次式の展開・因数分解の公式を利用することができる。 ・恒等式と方程式の違いを理解している。 ・相加平均・相乗平均の大小関係を利用して，不等式を証明することができる。 ・2次方程式の解の公式を利用して，2次方程式を解くことができる。 ・解と係数の関係を利用することができる。		・二項定理をパスカルの三角形と結び付けて考えることができる。 ・不等式 $A > B$ を証明するとき， $A - B > 0$ を示してもよいことを利用して，不等式を証明することができる。 ・同値な不等式を証明することで，もとの不等式を証明することができる。 ・2次方程式の解の符号に関する問題を，解と係数の関係を利用して解くことができる。		・恒等式の係数を決定する際に係数比較法と数値代入法とを比較して考察しようとしている。 ・繁分数式を分数式の性質を用いて処理しようとしている。 ・2次方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味を示し考察しようとしている。 ・2次方程式の解の符号を2次関数のグラフで考察することに興味をもち，問題に取り組もうとしている。		

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型			
教科	数学	科目	数学 A	単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	「新編 数学 A」(数研出版)		補助教材等	3TRIAL 数学 I (数研出版) FocusGoldSmart数学 I + A (啓林館)			
科目の目標	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培うことで、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育てる。						
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	重点	◎		○		○	
	評価規準	・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。		・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。	
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)				観点別評価		
					観 点	評価の手段	
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・集合の要素の個数 和集合および補集合の要素の個数の求め方を理解し、具体的な場面で利用できるようになる。 ・場合の数 樹形図を用いて、場合の数の数え上げができるようになる。また、和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができるようになる。 ・順列 具体的な事象の考察を通して、順列の考え方を理解し、いろいろな場合の数を求める際に、順列の考え方を利用することができるようになる。 ・組合せ 具体的な事象の考察を通して、組合せの考え方を理解し、いろいろな場合の数を求める際に、組合せの考え方を利用することができるようになる。	知識・技能			知識・技能	定期考査等	
						課題やレポート	
		思考・判断・表現			思考・判断・表現	定期考査等	
						課題やレポート	
主体的に学習に取り組む態度			主体的に学習に取り組む態度	課題やレポート			
				授業での活動			
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第2節 確率 ・事象と確率 具体例を通して、試行と事象の意味や事象が集合で表されることを理解する。 ・確率の基本性質 事象と集合の関係に着目し、確率の基本性質が成り立つことを理解する。 ・独立な試行と確率 具体的な例を通して、独立な試行の確率の求め方を理解し、反復試行の確率が計算できるようになる。 ・条件付き確率 具体的な例を通して、条件付き確率の意味を理解し、乗法定理などを用いて、やや複雑な事象の確率が計算できるようになる。 ・期待値 期待値についてその意味を理解し、計算に慣れる。	知識・技能			知識・技能	定期考査等	
						課題やレポート	
		思考・判断・表現			思考・判断・表現	定期考査等	
						課題やレポート	
主体的に学習に取り組む態度			主体的に学習に取り組む態度	課題やレポート			
				授業での活動			
第 1 学期	観点別評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		◎		○		○	
	評価規準	・共通部分、和集合、補集合を求めることができる。 ・和集合や補集合の要素の個数の公式を用いることができる。 ・順列や組合せの用語、公式を理解し、利用できる。 ・確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。		・場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ・既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 ・反復試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 ・条件付き確率を、公式を用いて求めることができる。		・順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもとうとしている。 ・組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもとうとしている。 ・和事象、積事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとしている。 ・くじ引きの確率が、引く順番に関係なく等しくなることに興味をもとうとしている。	

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 ・三角形の辺の比 線分を内分・外分する点や三角形の角の二等分線と比について理解し、線分の比や長さを求められるようになる。 ・三角形の外心・内心・重心 三角形の外心、内心、重心の定義や性質を理解し、図形の計量や証明に用いることができるようになる。 ・チェバの定理・メネラウスの定理 チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、三角形に現れる線分比を求める問題に活用できるようになる。 ・円に内接する四角形 円に内接する四角形の性質について理解し、その性質を利用して、角度を求めることができるようになる。 ・円と直線 円の接線の性質や方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができるようになる。 ・2つの円 2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を考察し、2つの円の位置関係を半径の長さを中心間の距離によって類別できることを理解する。 ・作図 平行線と線分の比の性質を利用して、内分点・外分点の作図ができるようになる。	知識 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート			
		授業での活動			
第2学期 期末 考查まで	第2節 空間図形 ・直線と平面 空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察し、理解する。 ・空間図形と多面体 正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができるようになる。	知識 ・ 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート			
		授業での活動			
第2学期		観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		評 価 規 準	◎	○	○
			・三角形の内角・外角の二等分線と比の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。 ・外心・内心・重心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ・チェバの定理、メネラウスの定理、方べきの定理を用いて、線分比を求めることができる。 ・円周角の定理、接線と弦の作る角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。	・証明する際に、適当な補助線を引いて考察することができる。 ・図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。 ・作図の各過程において、平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。	・三角形の3辺の垂直二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもとうとしている。 ・三角形の面積と線分の比の性質の証明方法に関心をもとうとしている。 ・2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとしている。 ・空間における図形の位置関係について考えてみようとしている。
学年 末 考查まで	第3章 数学と人間の活動 ・約数と倍数 約数・倍数の意味やいろいろな数の倍数の判定法を理解する。 ・素数と素因数分解 自然数の正の約数やその個数を求めるために、素因数分解が利用できることを理解する。 ・最大公約数・最小公倍数 身近な事象について数学的に捉え、最大公約数・最小公倍数との関係について考察し、素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解する。 ・整数の割り算 整数 a を正の整数 b で割る割り算を、a と b の間に成り立つ等式として捉えることができるようになる。 ・ユークリッドの互除法 互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができるようになる。 ・1次不定方程式 a,b が互いに素であるとき、どんな整数c についても ax+by=c を満たす整数 x, y が存在することを理解し、1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができるようになる。 ・記数法 記数法、10進法、2進法、n 進法について理解し、n 進法の整数を10進法で、10進法の整数をn 進法で表すことができるようになる。 ・座標の考え方 平面や空間における特定の地点を、座標平面、座標空間上の点と捉えて位置を座標で表現できるようになる。 ・ゲーム・パズルの中の数学 ゲームの設定を多面的かつ論理的に考え、ゲームで勝つ方法を導くことができるようになる。	知識 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート			
		授業での活動			
第3学期		観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		評 価 規 準	◎	○	○
			・さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容を理解している。	・現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を身に付けている。	・数学史に興味・関心をもとうとしている。

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科		類型				
教科	理科	科目	化学基礎			単位	2	必修 選択	必修
使用教科書		「化学基礎」 （実教出版）		補助教材等	ニューアチーブ化学基礎（東京書籍） フォローアップドリル化学基礎 （数研出版）				
科目の目標		物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。							
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	○		◎		○		
		評価規準	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。		自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。		自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対して探究しようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考査 まで	1 章 物質の構成 1 節 物質の探究 ・物質を成分によって「混合物、純物質、化合物、単体」に分類できることを知り、各物質の特徴を理解する。 ・身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ・物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。 ・粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解する。					知識 技能	定期考査等		
							課題プリント		
							授業での活動		
						思考 判断 表現	授業での活動		
							定期考査等		
							課題プリント		
主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動								
	課題プリント								
第 1 学期 期 末 考査 まで	2 節 物質の構成粒子 ・原子の大きさや構造について理解する。原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現する。 ・イオンの生成を電子配置と関連づけて考える。 ・電子の配列と性質との関係について理解する。 2 章 物質と化学結合 1 節 イオン結合 ・陽イオンと陰イオン間の静電的引力によりイオン結合が形成されることを理解する。 ・水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。 ・イオン結合でできた物質の性質について探究する。					知識 ・ 技能	定期考査等		
							課題プリント		
							授業での活動		
						思考 判断 表現	授業での活動		
							定期考査等		
							課題プリント		
主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動								
	課題プリント								
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価 規 準	・粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解している。 ・元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつけられていることを理解することができる。		・物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。 ・水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。		・物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとしている。 ・元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 期末 考査まで	2節 共有結合と分子間力 ・分子中の原子の結合および分子の構造を表す方法を理解する。 ・電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考える。 3節 金属結合 ・金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解し、電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解する。 4節 化学結合と物質 ・身近な物質を化学結合の種類と結び付けて考える。			知識 技能	定期考査等
					課題プリント
					授業での活動
				思考 判断 表現	授業での活動
					定期考査等
					課題プリント
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					課題プリント
第2学期 期末 考査まで	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 ・原子量・分子量・式量と物質の関係を論理的・分析的・包括的に理解できているとともに、物質を用いた基本的な計算をする。 ・モル濃度が、溶液の体積と溶質の物質の関係を表していることを理解する。 2節 酸と塩基 ・酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基の反応を捉える。 ・酸・塩基の価数・強弱の関係を理解している。性、塩基性の程度とpHの関係を理解する。			知識 ・ 技能	定期考査等
					課題プリント
					授業での活動
				思考 判断 表現	授業での活動
					定期考査等
					課題プリント
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					課題プリント
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・共有結合を電子配置と関連づけて理解している。 ・電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解している。 ・原子量・分子量・式量と物質の関係を論理的・分析的・包括的に理解している。	・電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。 ・質量パーセント濃度とモル濃度の違いを表現することができる。 ・さまざまな酸・塩基の強弱について考察することができる。	・分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について探究しようとしている。 ・金属に共通する性質について、探究しようとしている。 ・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて、探究しようとしている。	
学年 末 考査まで	3節 酸化還元反応 ・酸化・還元反応の定義を理解し、酸化と還元が同時に起こることを理解している。酸化数の定義を理解する。 ・金属のイオン化傾向を、酸化還元反応と関連付けて理解する。 ・酸化数の定義を理解し、これらの定義を適用できる反応を見出す。 ・酸化還元反応に関心を持ち、電子の授受という観点から化学反応をとらえ、意欲的に探究する。			知識 技能	定期考査等
					課題プリント
					授業での活動
				思考 判断 表現	授業での活動
					定期考査等
					課題プリント
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					課題プリント
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・酸化数の定義を理解している。 ・イオン反応式から反応全体の化学反応式を導くことができる。 ・酸化還元反応の量的関係を理解している。	・酸化数の定義を理解し、これらの定義を適用できる反応を見出すことができる。	・身近な現象と酸化還元反応を関連付けて、探究しようとしている。 ・酸化還元反応に関心を持ち、電子の授受という観点から化学反応をとらえ、意欲的に探究しようとする。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	理科	科目	地学基礎		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	「高等学校地学基礎」 (啓林館)		補助教材等	地学基礎の基本マスター新訂版 (啓林館)				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を身につけるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解する。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価規準	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。		地球や地球を取り巻く環境を対象に、探究の過程を通し、情報収集、仮説や実験の設定と観察、データの分析・解釈、推論など探究方法を習得するとともに、レポート作成や発表を通して、理解した内容を表現することができる。		地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとしている。自然環境の保全に寄与しようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第 1 部 固体地球とその活動 第 1 章 地球 第 1 節 地球の外観 ・地球の形の特徴と大きさを観察や測定結果を通して見だし、厳密には球でないことを理解させる。 第 2 節 地球の内部構造 ・地殻やマントルを構成する岩石の特徴を見いださせ、層構造について理解させるとともに地球内部の状態を理解させる。 第 2 章 活動する地球 第 1 節 プレートテクトニクスと地球の活動 ・プレート分布と運動及びそれに伴う大地形の形成について理解させる。 第 2 節 地震 ・火山活動や地震に関する資料から火山活動と地震発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解させるとともにプレート境界における火山の活動や分布などの特徴を理解させる。				知識 技能	課題やレポート		
						授業での活動		
						振り返りシート等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第 3 節 火山活動と火成岩の形成 ・火山活動と火成岩の形成の仕組みについて理解させるとともに岩石の組織と化学組成や鉱物の組合せに基づいた分類ができるようにする。 第 2 部 大気と海洋 第 1 章 大気の構造 第 1 節 大気圏 ・気圧や気温の鉛直方向の変化について、大気の構造の特徴を理解させるとともに、気圧や気温が高度とともに変化し、対流圏成層圏、中間圏、熱圏が気温の変化によって区分されることを理解させる。 第 2 節 水と気象 ・水の循環と対流圏の気象について理解させる。 第 2 章 太陽放射と大気・海水の運動 第 1 節 地球のエネルギー収支 ・地球の熱収支について理解させる。				知識・ 技能	課題やレポート		
						授業での活動		
						振り返りシート等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
	評価規準	プレートの運動や境界について理解するとともに、プレート運動によって大地形が形成されることを理解している。 ・砂や火山灰の観察から鉱物を識別し、火成岩を組織と化学組成や鉱物の組合せに基づいて分類できる。 ・大気の層構造について理解し、各層の特徴や観測される現象について説明することができる。		・地殻を構成する岩石の特徴から、地球内部の密度や層構造について説明できる。 ・地震と火山の分布がプレート境界に対応することを見だし、プレートの運動によって地震や火山活動が起こることを説明できる。		・地球の形や大きさを調べるにあたり、過去の人々がとった方法や、地球の実際の形や大きさについて関心を持って学習しようとしている。		

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	第2節 大気の大循環 ・大気の大循環と地球規模の熱の輸送について理解させるとともに、偏西風、貿易風、ハドレー循環、暖流、寒流などを理解させる。 第3節 海水の循環 ・海水の運動と地球の熱の輸送について理解させる。 第3章 日本の天気 第1節 日本の位置 第2節 冬から春の天気 第3節 夏から秋の天気 ・日本の気象に影響を与える偏西風や大陸と海の分布について理解させる 第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第1節 宇宙の誕生 第2節 太陽系の誕生 ・宇宙と太陽系の誕生、太陽系の天体の特徴について理解させる。	知識 技能		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考查等	
		思考 判断 表現		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考查等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考查まで	第2章 地球と生命の進化 第1節 先カンブリア時代 第2節 顕生代 ・地球の誕生から生物の出現にいたる地球の歴史について理解させる。 ・古生物の変遷と地質時代の区分、地球環境の移り変わりについて理解させるとともに、地層や化石の観察をとおして古生物の変遷を理解させる。 ・地球環境の変化について、大気の変化と生命活動が相互に関わりながら地球環境が変化してきたことを理解させる。 第3章 地球史の読み方 第1節 地層からわかること 第2節 地層の形成 第3節 地層の読み方 ・化石と地層の対比について理解させる。	知識 ・ 技能		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考查等	
		思考 判断 表現		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考查等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		評価 規 準	・宇宙誕生について、ビッグバン以降に水素原子やヘリウム原子が誕生して宇宙の晴れ上がるまでの過程を理解している。 ・地質時代が古生物の変遷に基づいて区分されることを理解するとともに、各地質時代の出来事や特徴的な生物、化石について理解している。	・地質構造の観察から、当時の環境や地殻変動を推定することができる。とともに、化石の観察結果から古生物の特徴を考察することができる。	・気温や気圧が高度とともに変化し、大気に層構造があることに関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。 ・地形や地層、化石について意欲的に観察や実験を行い、それらが作られた環境や原因を学ぶことを通して、地球の歴史とその特徴を説明しようとしている。
学年末 考查まで	第4部 自然との共生 第1節 地球環境と人類 第2節 地震災害・火山災害 第3節 気象災害 第4節 災害と社会 第5節 人間社会と地球環境の変化 ・人類が自然から多様な恩恵を受けていることを理解させる。 ・日本における自然環境の特徴を理解させ、それらがもたらす恩恵や災害など、人間生活が自然環境と深く関わっていることを学ばせる。 ・地域の自然災害の実例や防災に関する資料、ハザードマップなどに基づいて、地域の自然災害の特徴を理解させる。	知識 技能		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考查等	
		思考 判断 表現		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考查等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第3学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		評価 規 準	・地球規模で起きている自然環境の変化について理解するとともに、それらの変化が人間活動の影響によって起きていることを理解している。	・自然災害の原因や条件を理解し、災害リスクを減らすための方法について総合的に判断し、それを表現することができる。・地球環境に影響を及ぼしている人間活動について考察するとともに、現在の状況が続くことによる将来への影響について総合的に判断することができる。	・自然災害の起きる状況を理解し、災害リスクを減らすための科学的な見方・考え方を身につけようとしている。 ・地球規模の自然環境やそこで起きている環境変化について関心を持って学習しようとしている。

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	保健体育	科目	体育		単位	3	必修 選択	必修
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		補助教材等		アクティブスポーツ （大修館書店）			
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するために、運動の多様性や体力の必要性を理解し、技能を身につけるようにするとともに、課題を発見し、合理的・計画的な解決のため他者に伝える力を養う。また、運動における競争や協働の経験を通して公正・協力・責任・参画・共生などに対する意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価 規 準	・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かにすることができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、運動に親しもうとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組ませる。 陸上競技 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけさせる。				知識 技能	授業での活動		
						発問に対する応答		
						実技テスト等 振り返りシート等		
					思考 判断 表現	授業での活動		
						発問に対する応答		
						授業に対する態度 振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	球技 ア．ゴール型 サッカー イ．ネット型 バレーボール ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解するとともに作戦委応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 体育理論 ①スポーツの始まりと変遷 スポーツの始まりについて知り、なぜスポーツが世界中に広まったのかを理解させる。 ②文化としてのスポーツ 多様ななかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明させる。				知識 ・ 技能	授業での活動		
						発問に対する応答		
						実技テスト等 振り返りシート等		
					思考 判断 表現	授業での活動		
						発問に対する応答		
						授業に対する態度 振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
		・運動種目のルール、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、試合や発表の仕方などについて理解している。 ・運動種目の固有の技能や動き、演技について自己の能力に応じた目標設定を安定して行うことができる。		・生涯にわたって運動を豊かに継続するために自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・各種目に主体的に取り組むとともに、良いプレーや、良い演技を讃えようということ、互いに助け合い高め合おうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどをしたり、健康・安全を確保したりしようとしている。		

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価				
				観 点	評価の手段			
第2学期 中間 考査まで	ダンス（創作ダンス） ・ 感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をさせる。 武道（柔道・剣道） ・ 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。 相手を尊重し、武道の伝統的な行動の仕方を大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする意欲を持ち、健康や安全を確保させる。 球技 ア．ゴール型　バスケットボール イ．ネット型　卓球 ウ．ベースボール型　ソフトボール ・ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解するとともに作戦委応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 体育理論 ③オリンピックとパラリンピックの意義 オリンピックとオリンピックの価値について理解し、具体例をあげて説明させる。 ④スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツが経済に重要な役割を果たしているか理解させる。	知識 技能	授業での活動 発問に対する応答 実技テスト等 振り返りシート等	思考 判断 表現	授業での活動 発問に対する応答 授業に対する態度 振り返りシート等			
						主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 発問に対する応答 授業に対する態度 実技テスト等	
		知識 ・ 技能		授業での活動 発問に対する応答 実技テスト等 振り返りシート等				思考 判断 表現
						主体的に 学習に取り 組む態度		
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○		主体的に学習に取り組む態度 ○			
	評 価 規 準	・運動種目のルール、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、試合や発表の仕方などについて理解している。 ・運動種目の固有の技能や動き、演技について自己の能力に応じた目標設定を安定して行うことができる。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するために自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・各種目に主体的に取り組むとともに、良いプレーや、良い演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしようとしている。			
学年 末 考査まで	球技 ア．ゴール型 ユニホック イ．ネット型 バドミントン ・ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解するとともに作戦委応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 体育理論 ⑤スポーツの高潔さとドーピング ドーピングがなぜスポーツの高潔さを破壊する行為になるのかを説明させる。 ⑥スポーツと環境 スポーツにおける環境問題について理解させる。	知識 技能	授業での活動 発問に対する応答 実技テスト等 振り返りシート等	思考 判断 表現	授業での活動 発問に対する応答 授業に対する態度 振り返りシート等			
						主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動 発問に対する応答 授業に対する態度 実技テスト等	
		知識 ・ 技能		授業での活動 発問に対する応答 実技テスト等 振り返りシート等				思考 判断 表現
						主体的に 学習に取り 組む態度		
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○		主体的に学習に取り組む態度 ○			
	評 価 規 準	・運動種目のルール、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、試合や発表の仕方などについて理解している。 ・運動種目の固有の技能や動き、演技について自己の能力に応じた目標設定を安定して行うことができる。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するために自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・各種目に主体的に取り組むとともに、良いプレーや、良い演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどをしたり、健康・安全を確保しようしたりしている。			

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科		類型				
教科	保健体育	科目	保健			単位	1	必修 選択	必修
使用教科書		現代高等保健体育 (大修館書店)		補助教材等		現代高等保健ノート (大修館書店)			
科目の目標		保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育成する。							
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価 規 準	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身につけている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身につけている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 まで	1. 現代社会と健康 ①健康の考え方と成り立ち さまざまな健康の考え方について知り、健康を成り立たせている要因について理解する。 ②私たちの健康のすがた 現在の日本の健康水準を知り、心の健康や高齢化が社会に与える影響など健康問題の変化について理解を深める。 ③生活習慣病の予防と回復 ヘルスプロモーションの考え方について理解し、生活習慣病の予防について社会や自他の課題を知り、よりよい課題解決に向けて考えを深める。 ④がんの原因と予防 がんの種類や原因について理解する。がんの一次予防、二次予防について理解し説明できる。 ⑤がんの治療と回復 がんのおもな治療法について知り、社会的な対策について学ぶ。					知識 技能	定期考査等		
							授業での活動		
						思考 判断 表現	授業での活動		
							振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 まで	⑥運動と健康 運動の意義を学び、健康のための運動、将来にわたり運動を継続していくために必要なことを理解する。 ⑦食事と健康 健康の保持増進にとって、食事はとくに重要な要素であることから自身の課題を知り、自身に合った解決方法を思考し説明できる。 ⑧休養・睡眠と健康 休養の必要性を自覚し、よりよい休養・睡眠のあり方について説明できる。 ⑨喫煙と健康 たばこのない社会の実現には個人および社会全体での取り組みが重要であることを理解し、新たな解決方法を探究する。 ⑩飲酒と健康 飲酒による健康への短期的・長期的影響および飲酒による社会問題について理解を深める。					知識・ 技能	定期考査等		
							授業での活動		
						思考 判断 表現	授業での活動		
							振り返りシート等		
					主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動			
						課題やレポート			
						振り返りシート等			
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価 規 準	・運動や喫煙、飲酒などが健康にどのように作用するのかを理解している。 ・資料やグラフなどから情報を読み取る技能を身に付けている。		・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。		・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価		
			観 点	評価の手段	
第2学期 中間 考 査 まで	⑪薬物乱用と健康 薬物乱用が引き起こす心身への影響や社会問題について学び、絶対に許してはならないことを理解する。 ⑫精神疾患の特徴 現代社会における精神保健の課題を説明できる。 ⑬精神疾患の予防 精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 ⑭精神疾患からの回復 精神疾患の適切な治療や回復のための、必要な社会環境について理解を深める。 ⑮現代の感染症 新興感染症と再興感染症が流行する要因を理解し、自身の感染予防について振り返り、課題解決の方法を学ぶ。 ⑯感染症の予防 感染症予防の3原則を理解するとともに、一人ひとりの適切な行動が、社会全体を感染症の流行から守ることにつながることを理解する。		知識 技能	定期考査等	
				授業での活動	
			思考 判断 表現	授業での活動	
				振り返りシート等	
			主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動	
				課題やレポート	
				振り返りシート等	
			第2学期 期末 考 査 まで	⑰性感染症・エイズとその予防 性感染症およびエイズについて基本的知識を学び、予防対策について個人及び社会の両面から理解し説明できる。 ⑱健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。 ⑲健康に関する環境づくり 社会環境が健康に与える影響について知り、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく社会づくりについて考えを深める。 2. 安全な社会生活 ①事故の現状と発生要因 交通事故の現状と実態を知り、人的要因と環境要因が関連していることを学ぶ。 ②安全な社会の形成 交通事故防止のための安全な交通社会づくりを学ぶ。	
授業での活動					
思考 判断 表現	授業での活動				
	振り返りシート等				
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
	課題やレポート				
	振り返りシート等				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎			
	評 価 規 準	・薬物や感染症などについて理解している。 ・資料やグラフなどから情報を読み取る技能を身に付けている。	・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	
学年 末 考 査 まで	③交通における安全 交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 ④応急手当と意義とその基本 応急手当の意義や基本的な手順のほか、緊急時の積極的な行動が人命救助につながることを理解する。 ⑤日常的な応急手当 これまでの学習の復習をしながら、さらに理解を深める。熱中症は適切な判断と応急手当、その予防を理解する。 ⑥心肺蘇生法 実習を通して正確な心肺蘇生法の習得をめざすとともに、その原理を理解する。		知識 技能	定期考査等	
				授業での活動	
			思考 判断 表現	授業での活動	
				振り返りシート等	
			主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動	
				課題やレポート	
				振り返りシート等	
			第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎
評 価 規 準	・事故に対する対応や応急処置などについて理解している。 ・資料やグラフなどから情報を読み取る技能を身に付けている。	・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。		・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	芸術	科目	音楽 I		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		MOUSA1（教育芸術社）		補助教材等	Music Note（啓隆社）			
科目の目標		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けさせ、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組ませる。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考査 まで	・歌唱 「校歌」、「この道」 校歌を歌うことで、学校やクラスの帰属意識を高める。歌唱を通して、歌唱技能の基本を学び、音楽を味わって歌ったり聴いたりする。 ・楽典 「音名と音部記号」、「音符と休符」、「拍子」 基本的な音楽の理論を理解することで、歌唱曲や鑑賞曲にもより興味を示すことができる。ただ歌ったり聴いたりするだけではなく、基本からしっかりと理解し、それらを表現活動に生かす。				知識 技能	授業での活動		
						実技テスト等		
						小テスト		
					思考 判断 表現	授業での活動		
						実技テスト等		
						小テスト		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート							
	授業での活動							
	実技テスト等							
第 1 学期 期末 考査 まで	・ソルフェージュ 「リズムを正確に読む」、「メロディーを階名で歌う」 楽典で学習した内容を生かして、リズムを読んだりメロディーを歌ったりする練習をする。 ・鑑賞 「ボレロ」 オーケストラの構造について深く理解し、それぞれの楽器の特徴や奏法に関心を持つ。また、同じメロディーを繰り返し演奏する楽曲に凝らされた工夫を自ら見つけ出し、音楽の面白さを感じる。				知識・ 技能	授業での活動		
						小テスト		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	振り返りシート等		
						授業での活動		
						小テスト		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート							
	振り返りシート等							
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		◎	○	○				
	評価 規 準	・「音名と音部記号」、「音符と休符」、「拍子」について理解している。 ・「ボレロ」の作曲家や曲が作曲された背景、曲調について理解している ・校歌や「この道」をしっかりとした音程で歌うことができる。	・「音名と音部記号」、「音符と休符」、「拍子」について学んだことを応用して考えている。 ・「この道」の歌詞の情景をイメージし、創意工夫を生かした表現をしようとしている。	・表現活動や鑑賞活動、楽典の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽を奏でることの楽しさや美しさを感じようとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	・器楽 「リコーダー」 リコーダーを演奏することで奏法を身に付け、奏法によって音色や響き、表情等の違いが生み出されることを理解する。また、アンサンブルを通してハーモニーの美しさを感じる。 ・鑑賞 「トゥーランドット」 オペラの構造について理解し、音色や旋律、曲想とのかかわりに関心を持つ。また音楽を評価しながら、音楽のよさや美しさを感じ取り、深く味わって聴く。	知識 技能		授業での活動	
				実技テスト等	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		授業での活動	
				実技テスト等	
				課題やレポート	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				課題やレポート	
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考查まで	・楽典 「音階と階名」、「音程」 音階や音程の仕組みを理解することで、歌唱や鑑賞の際に生かすことができる。また、音楽の基礎を理解し、より学びを深めることができる。 ・歌唱 「0 sole mio」、「美女と野獣」 「0 sole mio」を通して、イタリア語の歌詞や発音を理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う。また「美女と野獣」を通して、歌詞を内容や登場人物の心情などを理解して、ハーモニーを感じながら歌う。	知識 ・ 技能		授業での活動	
				実技テスト等	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		小テスト	
				授業での活動	
				実技テスト等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				小テスト	
				授業での活動	
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・リコーダーの演奏技術や奏法を身に付けている。 ・「トゥーランドット」「0 sole mio」の作曲者や曲が作曲された背景、曲調について理解している。 ・「音階と階名」「音程」の仕組みを理解している。	・リコーダーの演奏技術や奏法を身に付け、表現している。 ・「0 sole mio」「美女と野獣」の歌詞から背景をイメージして、自分なりに表現しようとしている。 ・「音階と階名」「音程」の仕組みを理解した後、応用して考えている。	・表現活動や楽典の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽を奏でることの楽しさや美しさを感じようとしている。	
学年 末 考查まで	・創作 「旋律の雰囲気を変化させよう」 ある旋律に音を加えたり、リズムや拍子、調などを変えたりして、自分や他者の音楽を感じ取る。同時に記譜の仕方についても学び、正しい記譜ができるようにする。 ・日本の伝統音楽 日本にまつわるそれぞれの時代の様式や楽器の特徴について理解する。 ・歌唱 「蛍の光」 本曲が「蛍雪の功」のことわざを由来にしていることについて理解し、歌詞の意味を自ら考えながら理解する。また、卒業式での歌唱に挑む。	知識 技能		授業での活動	
				課題やレポート	
				作品や課題	
		思考 判断 表現		授業での活動	
				課題やレポート	
				作品や課題	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				課題やレポート	
				作品や課題	
第3学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		○	◎	○	
	評価 規 準	・「蛍の光」の歌について理解している。 ・日本の伝統音楽の様式や特徴について理解している。	・「蛍の光」の歌詞の意味について自らの力で考えている。 ・これまでに学んだことを踏まえて自ら創作活動に取り組み、自分の考えを表現することができる。	・表現活動や創作活動、鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。 ・音楽を奏でることの楽しさや美しさを感じようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	芸術	科目	美術 I		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		「高校生の美術1」 (日本文教出版)		補助教材等				
科目の目標		対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めさせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えさせ、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。主体的に美術の幅広い創造活動に取り組ませ、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		重点	○		◎		○	
		評価 規 準	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。		・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
【表現】 絵画 名画の模写 ・教科書に掲載されている名画を模写することにより原画とイラストボードに描かれたマスを比較し、原画の輪郭線をイラストボードに正確に再現する。 ・輪郭線を描く際は、鉛筆と消しゴムの使い方を事前に理解する。 ・彩色に際しては、原画の色にこだわることなく、オリジナリティに溢れた色彩を発想し、表現する。 ・水彩絵の具を用いた色の塗り重ねにおいて、色を塗り重ねる順番を事前に計画だてて、濁り、滲みのないバランスの取れた色彩表現をする。					観 点	評価の手段		
					知識 技能	作品や課題 振り返りシート等 授業での活動		
						思考 判断 表現	作品や課題 振り返りシート等 課題やレポート	
主体的に 学習に 取り組む 態度				振り返りシート等 課題やレポート 授業での活動 作品や課題				
【鑑賞】 教養としての美術史① 原始美術からルネサンスまで ・紀元前の洞窟壁画からルネサンス期に至るまでの、西洋並びに東洋美術（日本を含む）作品を鑑賞し、それぞれの時代における表現技法やモチーフ、素材の違いを理解する。 ・人類文化の発展において美術が果たした役割について考察する。					知識 ・ 技能	課題やレポート 振り返りシート等 授業での活動 小テスト		
						思考 判断 表現	課題やレポート 振り返りシート等 授業での活動 小テスト	
					主体的に 学習に 取り組む 態度			
第 1 学期		観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
			○		◎		○	
		評価 規 準	・造形の要素の働きを理解している。 ・意図に応じて絵筆や絵の具の特性を生かしている。 ・原画の色彩にとらわれず造形を創意工夫し、自分の主題を追求して創造的に表している。		・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから造形を再構成し、主題を生成している。 ・イラストボードと絵の具の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。		・主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査まで	【表現】デザイン 公園遊具のデザイン - 架空の公園遊具をPowerPointを用いてデザインし、そのミニチュアモデルを制作する。ミニチュアモデルの制作時には、スチレンボードと針金だけを用いセロハンテープ等の接着剤は用いない。 - スチレンボード同士の接合は、針金あるいは継ぎのみによるものとし、接着剤を用いない。このことにより接合に関する知識と技能を高め、限られた技法で主題を表現する豊かな発想力を育てる。 - 成果物に、最低限直立することを求めるが、余力のある者は作品に着色してもよい。その際は、各パーツ間でバランスあるいは統一性の取れた色彩表現をすることで造形的なよさや美しさを追求する。			知識 技能	作品や課題
					振り返りシート等
					授業での活動
				思考 判断 表現	作品や課題
					振り返りシート等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等
					課題やレポート
授業での活動					
作品や課題					
第2学期 期末 考査まで	【鑑賞】教養としての美術史② バロック・ロココからモダンアートまで 1600年代から1900年代前半までの芸術作品を概観し作品に現れた近代自我のめばえと世界認識の方法を理解する。 - 同時代の西洋美術と東洋美術（日本美術を含む）を比較し、表現手段の違いを理解することで、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考察し、見方や感じ方を深める。			知識 ・ 技能	課題やレポート
					振り返りシート等
					授業での活動
					小テスト
				思考 判断 表現	課題やレポート
					振り返りシート等
					授業での活動
					小テスト
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等
					課題やレポート
授業での活動					
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評 価 規 準	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・意図に応じてスチレンボードや針金の特性を生かしている。 ・限られた素材や技法の中で造形を創意工夫し、自分の主題を追求して創造的に表している。	・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成すること考え、主題を生成している。 ・デザインの機能や効果、スチレンボードと針金の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的にデザインの創造活動に取り組もうとしている。	
学年末 考査まで	【鑑賞】教養としての美術史③ コンテンポラリーアート - 難解といわれる現代アートの見方・考え方を美学・美術史の見地から提示した授業を聞き芸術（美術）とは何か、現代アートは芸術と言えるのかについて考察する。 - テキスト、グラフィック、映像等、多彩なメディアの混成によって成り立つ現代アートを鑑賞することで、現代人による自己表現について理解するとともに、それらのメディアを用いた自己表現ができるようになる。			知識 技能	課題やレポート
					振り返りシート等
					授業での活動
					小テスト
				思考 判断 表現	課題やレポート
					振り返りシート等
					授業での活動
					小テスト
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等
					課題やレポート
授業での活動					
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評 価 規 準	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ・日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。	・主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型				
教科	芸術	科目	書道 I		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		書 I（光村図書）		補助教材等				
科目の目標		書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を身につけさせる。						
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価 規 準	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して、理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能や知識を身に付け、表している。		・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。		書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	○書写から書道へ ・書写と書道の学習の違いを確認し、芸術科書道への関心・意欲を高める。 ○漢字の書【楷書】 唐の四大家の楷書 ・唐の四大家による古典の臨書・鑑賞を通して、楷書の規範・典型を学ぶとともに、同じ書体の中での書風の違いとその多彩な美を感じ取ることで、表現力の基礎を養う。				知識 技能	作品や課題		
						振り返りシート等		
					思考 判断 表現	作品や課題		
						振り返りシート等		
					主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動		
						振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	北魏の楷書 ・書風の多様性を知り、鑑賞・臨書することで、字形と用筆の特徴をつかむ。 創作 ・学習した楷書の書風を生かして意図に基づいて主体的に表現する。				知識・ 技能	作品や課題		
						振り返りシート等		
						小テスト		
					思考 判断 表現	作品や課題		
						振り返りシート等		
						実技テスト等		
					主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動		
						振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
	評価 規 準	・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能や知識を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能や知識を身に付けている。		・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。		主体的に漢字の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査まで	○篆刻 雅印制作 ・印の作品における役割や種類を知り、篆刻の用具・用材、手順について理解する。 ○漢字の書【行書】 「蘭亭序」「風信帖」臨書 ・鑑賞・臨書を通して、行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	知識 技能		作品や課題	
		思考 判断 表現		作品や課題	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考査まで	○仮名の書 仮名の成立と種類 ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解する。 平仮名の単体・連綿の練習 ・仮名の基本的な筆使いを学ぶ。 古筆鑑賞 ・「継色紙」「升色紙」「寸小庵色紙」を鑑賞し、伝統的な構成方法と古筆の美しさを味わい、書に対する感性を豊かにする。	知識 ・ 技能		作品や課題	
				小テスト	
		思考 判断 表現		作品や課題	
				振り返りシート等	
				実技テスト等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき作品を効果的に表現するための基礎的な技能や知識を身に付け表している。 ・漢字の書体の変遷、仮名の成立等について理解している。	・書の上さや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の上を味わい深く捉えたりしている。	主体的に漢字や仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
学年 末 考査まで	○漢字仮名交じりの書 ・自分の心に響いた言葉を素材に、漢字と仮名の調和を図りながら、古典を生かした表現や、現代に生きる表現について構想し工夫して創作する。 ・自分の作品と友達の作品を互いに鑑賞し、作品について根拠をもって批評出来るような思考力や表現力を身につける。	知識 技能		作品や課題	
		思考 判断 表現		作品や課題	
				振り返りシート等	
				実技テスト等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				振り返りシート等	
第3学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・目的や用途に即した効果的な表現の技能や知識を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能や知識を身に付けている。	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。	主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1年	学科	普通科	類型				
教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位	3	必修 選択	必修	
使用教科書	「BIG DIPPER English Communication I」 (数研出版)		補助教材等					
科目の目標	日常的な話題について、話される速さや使用される語句や文、情報量などにおいて多くの支援を活用すれば、 ・必要な情報を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意図を把握することができるようにする。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができるようにする。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎		○		○		
	評価 規 準	・必要な情報を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意図を把握する知識を身に付けている。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる技能を身に付けている。		・必要な情報を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意図を把握している。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。		・必要な情報を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意図を把握しようとしている。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えたり、論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第1学期 中間 考査 まで	LESSON 1 Have a Good Day with a Good Breakfast 世界のさまざまな朝食について、写真を参考にしながら聞き取る。朝食の重要性について、各Part本文の内容を読み取り、理解を深め、概要や要点を把握する。本文の内容（朝食の重要性など）について、学習した語句や文法事項を用いて、簡単な英語を使って自分の意見を話したり書いたりする。 LESSON 2 A Mascot with a Mission ご当地マスコット（ゆるキャラ®）の役割などについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（ご当地マスコット（ゆるキャラ®）の役割など）について、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を短い英文で書く。				知識 技能	定期考査等		
						実技テスト等 課題やレポート 振り返りシート等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						実技テスト等 授業での活動		
第1学期 期 末 考査 まで	LESSON 3 Two Kinds of Leadership 2種類のリーダーシップなどについて、各Partの本文の内容を読み取り、理解を深め、各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（2種類のリーダーシップなど）について、学習した語句や文法事項を用いて、簡単な英語と使って自分の意見を話す。 LESSON 4 Older Sports and Newer Sports 自分の好きなスポーツなどについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（自分の好きなスポーツなど）について、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合う。				主体的に 学習に 取り組む 態度	実技テスト等		
						課題やレポート 授業での活動		
					知識・ 技能	定期考査等		
						実技テスト等 課題やレポート 振り返りシート等		
第1学期 期 末 考査 まで	LESSON 3 Two Kinds of Leadership 2種類のリーダーシップなどについて、各Partの本文の内容を読み取り、理解を深め、各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（2種類のリーダーシップなど）について、学習した語句や文法事項を用いて、簡単な英語と使って自分の意見を話す。 LESSON 4 Older Sports and Newer Sports 自分の好きなスポーツなどについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（自分の好きなスポーツなど）について、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合う。				思考 判断 表現	定期考査等		
						実技テスト等 授業での活動		
					主体的に 学習に 取り組む 態度	実技テスト等		
						課題やレポート 授業での活動		
第1学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
	評価 規 準	・本文の内容を読み取り、理解を深め、概要や要点を把握する。 ・言語材料（現在形、過去形、未来を表す表現、現在完了、現在進行形、命令文）を理解している。		・本文の内容について、事実や自分の考えを整理して、書いたり、相手に伝えたりしている。 ・学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。		・本文の内容について、事実や自分の考えを整理して、書いたり、相手に伝えようとしている。 ・学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	LESSON 5 AI Meets the Arts AIやAIによる芸術などについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（AIやAIによる芸術など）について、学習した語句や文法事項を参考に、本文の感想をペアで話し合う。 LESSON 6 What Is Happiness? 幸せを感じる状況などについて、写真・図表を参考にしながら聞き取る。日本と世界の幸福度などについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深め、各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（日本と世界の幸福度など）について、学習した語句や文法事項を参考にペアで話し合う。			知識 技能	定期考查等
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考查等
					実技テスト等
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
第2学期 期末 考查まで	LESSON 7 The Maldives: A Dream Destination? 人気の観光地が抱える問題などについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（人気の観光地が抱える問題など）について、学習した語句や文法事項を用いて、簡単な英語を使って自分の考えを相手に伝える。 LESSON 8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream Kazu Hiroの書いた手紙や仕事、将来の夢などについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（Kazu Hiroの書いた手紙や仕事、将来の夢など）を踏まえ、自分の将来の夢について簡単な英語を使って書き、発表する。			知識・ 技能	定期考查等
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考查等
					実技テスト等
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評 価 規 準	◎	○	○	
		・英文だけでなくその根拠となる図表を読み取る技能を身に付けている。 ・事実や自分の考えを整理し、教科書に書かれている表現や語句等を用いて伝えたり、相手からの質問に答える技能を身に付けている。	・各Lessonの内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり、書いたりしている。	・理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて。自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。	
学年 末 考查まで	LESSON 9 From Recycle to Upcycle ゴミを再利用して作った製品について、写真を参考にしながら聞き取る。モットイナイ精神やアップサイクル商品などについて各Partの本文の内容を読み取り理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文に関連したテーマ（ゴミを減らすための工夫）について自分の考えを書き、発表する。 LESSON 10 Diversity at Japanese Companies 日本企業の雇用や、働きかたなどについて各Partの本文の内容を読み取り、理解を深める。各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握する。本文の内容（日本企業の雇用や、働きかたなど）について、ペアで話し合い、Hintsを参考にして自分の考えを表現したり、意見交換をしたりする。			知識 技能	定期考查等
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考查等
					実技テスト等
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
第3学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評 価 規 準	◎	○	○	
		・仮定法過去、過去の習慣would、過去の習慣・状態used to、助動詞＋be＋過去分詞の用法について理解している。 ・上記の文法事項を用いて、正しい英文を書く技能を身に付けている。	・英文に書かれている内容の理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしている。	・理解を深めるために本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	1 年	学科	普通科	類型					
教科	外国語	科目	論理・表現 I		単位	2	必修 選択	必修	
使用教科書		be English Logic and Expression I Clear (いいずな書店)		補助教材等					
科目の目標		日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて多くの支援を活用すれば、 ・情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。 ・基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。 ・聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて意見や主張などを書いて伝えることができる。							
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○		○			
		評価 規 準	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について内容を捉えたり、伝え合う技能を身に付けている。	・日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、意図や概要、要点を捉え、気持ちや考えを論理性に注意して伝えることができる。		・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価				
					観 点	評価の手段			
第 1 学期 中間 考 査 ま で	LESSON 1 Meeting People 自己紹介の会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。 現在形・現在進行形について学んで理解し、学んだ表現を用いてクラスメイトを紹介することができる。 LESSON 2 Holidays and Weekends 休日や週末に関する会話を聞いて質問に答えることができる。 過去形・過去進行形について学んで理解し、学んだ表現を用いて自分の思い出について伝えることができる。 LESSON 3 Making Plans 予定に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。 未来を表す表現・未来進行形について学んで理解し、休日の予定について伝えることができる。				知識 技能	定期考査等			
						実技テスト等 課題やレポート 振り返りシート等			
					思考 判断 表現	定期考査等 実技テスト等 授業での活動 課題やレポート			
						主体的に 学習に 取り組む 態度	実技テスト等 課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	LESSON 4 Travel 旅行に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。 現在完了形について理解し、学んだ表現を用いて旅してみたい場所について書くことができる。 LESSON 5 Study and Activities 学習や課外活動に関する会話を聞いて質問に答えることができる。 過去完了形について理解し、学んだ表現を用いて自分が達成した事柄について伝えることができる。 LESSON 6 Food Culture 食文化に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。 能力・可能・推量・許可を表す助動詞について理解し、さまざまな地域の食習慣について伝えることができる。				知識・ 技能		定期考査等 実技テスト等 課題やレポート 振り返りシート等		
							思考 判断 表現	定期考査等 実技テスト等 授業での活動 課題やレポート	
					主体的に 学習に 取り組む 態度	実技テスト等 課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等			
						第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現
◎	○		○						
評価 規 準	・時制や助動詞に関する知識や重要な概念を理解し、既知の技能と関連付けたり活用したりすることができる。 ・学んだ知識を用いて、本文の内容を把握し、事実や自分の考えを書いたり話したりして伝える技能を身に付けている。	・学習した知識を用いて、話者や筆者の文章の意図を理解することができる。 ・学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりすることができる。		・学習した知識を用いて表現された文章から、書き手や話し手の意図を理解しようとしている。 ・学習した知識を用いて、自分の考えを伝えようとしている。					

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
			観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	LESSON 7 School Life 学校生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。 義務を表す助動詞について理解し、学校の規則について自分の意見を伝えることができる。 LESSON 8 Daily Life 日常生活に関する会話を聞いて質問に答えることができる。 依頼・提案を表す助動詞について理解し、学んだ表現を用いて友達をイベントに誘うことができる。 LESSON 9 Transportation Issues 交通問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。受動態について理解し、交通上の安全について話し合うことができる。 LESSON 10 Future Activities 将来の夢や目標に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。不定詞の名詞用法について理解し、将来してみたい活動について発表することができる。	知識 技能		定期考查等
				実技テスト等
				課題やレポート
				振り返りシート等
		思考 判断 表現		定期考查等
				実技テスト等
				授業での活動
				課題やレポート
		主体的に 学習に取り 組む態度		実技テスト等
				課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
第2学期 期末 考查まで	LESSON 11 Staying Healthy 健康に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。不定詞の形容詞・副詞用法について理解し、保健委員として病気予防について伝えることができる。 LESSON 12 New Products 新しい製品に関する会話を聞いて質問に答えることができる。不定詞の様々な用法を理解し、学んだ表現を用いて便利な製品の広告文を書くことができる。 LESSON 13 Hobbies and Interests 趣味・関心に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。動名詞について理解し、自分の趣味や興味について伝えることができる。 LESSON 14 The World of Nature 自然に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。分詞の形容詞用法について理解し、自然を楽しめる場所についてレビューを書くことができる。 LESSON 15 Trouble and Accidents トラブルに関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。分詞構文について理解し、出来事を伝える文章を書くことができる。	知識・ 技能		定期考查等
				実技テスト等
				課題やレポート
				振り返りシート等
		思考 判断 表現		定期考查等
				実技テスト等
				授業での活動
				課題やレポート
		主体的に 学習に取り 組む態度		実技テスト等
				課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○
	評価 規 準	・様々な助動詞や準動詞に関する知識や重要な概念を理解し、既知の技能と関連付けたり活用したりすることができる。 ・学んだ知識を用いて、本文の内容を把握し、事実や自分の考えを書いたり話したりして伝える技能を身に付けている。	・学習した知識を用いて、話者や筆者の文章の意図を理解することができる。 ・学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりすることができる。	・学習した知識を用いて表現された文章から、書き手や話し手の意図を理解しようとしている。 ・学習した知識を用いて、自分の考えを伝えようとしている。
学年 末 考查まで	LESSON 16 Inventions 社会問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。関係代名詞について理解し、偉業について伝えることができる。 LESSON 17 Cities and Towns 都市・町に関する会話を聞いて質問に答えることができる。関係副詞の用法を理解し、学んだ表現を用いて都市や町を紹介することができる。 LESSON 18 Living Environment 生活環境に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。比較級について理解し、都市と地方のメリット・デメリットについて意見を述べるすることができる。 LESSON 19 Social Problems 社会問題に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。最上級の表現について理解し、データに基づいて自分の意見を書くことができる。 LESSON 20 Making a Wish 願い事に関する会話を聞いて理解し、質問に答えることができる。仮定法について理解し、今年度の反省と来年度の目標を発表することができる。	知識 技能		定期考查等
				実技テスト等
				課題やレポート
				振り返りシート等
		思考 判断 表現		定期考查等
				実技テスト等
				授業での活動
				課題やレポート
		主体的に 学習に取り 組む態度		実技テスト等
				課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○
	評価 規 準	・関係詞、比較表現、仮定法に関する知識や重要な概念を理解し、既知の技能と関連付けたり活用したりすることができる。 ・学んだ知識を用いて、本文の内容を把握し、事実や自分の考えを書いたり話したりして伝える技能を身に付けている。	・学習した知識を用いて、話者や筆者の文章の意図を理解することができる。 ・学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりすることができる。	・学習した知識を用いて表現された文章から、書き手や話し手の意図を理解しようとしている。 ・学習した知識を用いて、自分の考えを伝えようとしている。

※「◎」特に重視する観点